



スキルアップ研修報告

コロナ禍で人が集うことに制限がかかって以降、研修もウェビナーと集合のハイブリッド開催が定着しました。また、過去の研修はナーススキルにもアップもされています。さまざまな受講方法が選択できるようになり、交代勤務の看護師にとっては好環境となっています。自分の状況にあった方法で、ぜひ、ご参加ください。

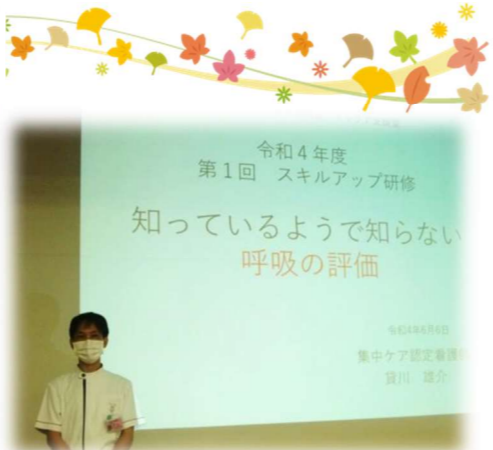
6月6日(月) 知っているようで知らない 呼吸の評価



貸川雄介 集中ケア認定看護師による研修会を開催し、89名のご参加をいただきました。呼吸の基本的な知識からその重要性までを丁寧に説明され、実践に即した内容で、参加者からもたいへん好評でした。

予期せぬ急変には前兆があり、そこを見極めるために呼吸回数の観察が必要だと学びました #@rikai

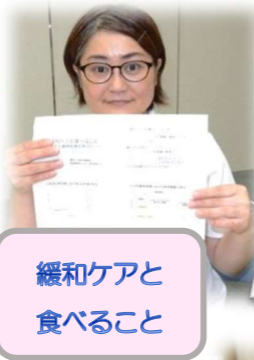
呼吸は奥が深く苦手ですが、かみ砕いた講義で勉強になりました #@manabi



RRS Rapid Response System
院内迅速対応システム モデル病棟拡大中！
呼吸の異常は生命兆候の変化として最も早く生じます
呼吸回数を測定し、検温表に記載しましょう

9月5日(月) ライフサイクルと食べる事 あなたにとって食べる事って？

尾門愛子 摂食・嚥下障害看護認定看護師
上野友香理 クリティカルケア認定看護師
西本麻衣子 緩和ケア認定看護師
による研修会を開催し、45名のご参加をいただきました。それぞれの視点からの「食べる事」について学び、私たちがどう支援できるかを考える良い機会となりました。

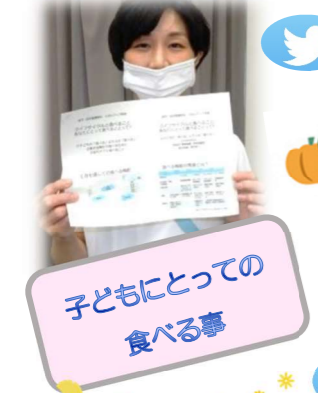


緩和ケアと食べる事



集中治療から食べるために

食べる事は人間にとって大事な要素であり、看護介入のポイントは沢山あるのだと学びました #@manabi



子どもにとっての食べる事



食べる事が楽しみとなるように、看護師だけでなく多職種で連携してアセスメントしていくことが必要だと思いました #@kizuki

研修開催予定

- 12月5日(月) 認知症と食べる事 糖尿病と食べる事
- 2月6日(月) 未定

秋の夜長に 読書のすすめ

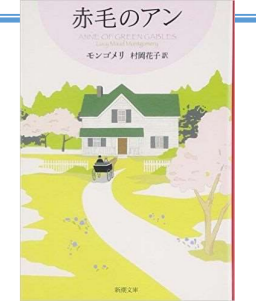
スマホの電源はOFFにして、本を手にとってみませんか？ ゆったりした姿勢で読書をする事は、ストレスの解消にもつながります。自分に合った一冊を見つけてみましょう。

【夢をかなえるゾウ】
クスッと笑いながら、気軽に読める一冊です。自分自身を振り返り、日々の生活でつい忘れてしまうことにも気づかせてもらえます。



【赤毛のアン】
大人になってから読むと、また違う良さを感じられる名作。物語の世界に入り込んでみませんか？

【薬屋のひとりごと】
1話が短く、隙間時間に読むことができます。しばし、仕事を忘れて謎解きの世界へトリップできるのでリフレッシュできると思います。



専門・認定看護師の 活動のご紹介

CNS・CN 通信

コロナ禍以前は、来院者を対象に「手洗いレクチャー」などのイベントを開催していましたが、現在は、SNSを活用し、地域の方に向けた情報発信を行っています。

看護部キャリア支援室 公式 Facebook

- ⇒ 看護部の紹介
- ⇒ 看護師のお仕事紹介
- ⇒ 専門・認定看護師のページ

CHECK

院外活動

研修講師や看護学校の講義など、院外での活動機会もいただいています。オンライン研修でパソコンに向かって話しをすることにも、だいぶ慣れてきました(´_`)

院内活動

各分野での実践をベースにしてそれぞれの専門性を活かし、各専門・認定分野の垣根を超えて、研修企画や症例の検討を行っています。



リエゾンリンクナースフォローアップ研修で 大森和美 がん看護専門看護師による「がん患者の心のケア」「サイコオンコロジー(精神腫瘍学)」の講義を企画しました。

「患者さんの対応について聞きたい」「病棟で学習会を企画したい」などなど、いつでもみなさんからのご依頼をお待ちしています！

お気軽にご相談ください

編集後記 今号より、タイトルを「CNだより」から、「CNS・CNだより」に改めました。今後も、専門看護師・認定看護師一丸となって、看護師のみなさんと一緒に、院内の看護の質向上に向けて取り組んでいきたいと思っています。